

平成 28 年 6 月 30 日

鉄道建設・運輸施設整備支援機構
理事長 北村 隆志 殿

鉄道助成業務の審査等に関する第三者委員会

委員長 杉山 雅洋



鉄道助成業務に関する改善意見

鉄道助成の本来の目的遂行に、その業務については平成27年度も適切に行われていると評価している。引き続き鉄道助成業務の充実強化を図るとともに、助成制度に対する事業者等の理解促進を図り、助成対象事業の効果的な実施支援を進めるため、下記のとおり意見を提出するので、着実に実施されたい。

記

【地域鉄道事業者等への情報提供】

平成27年度に全国6箇所で開催した「地域鉄道活性化に関する研究会」における参加者からのアンケート結果を踏まえ、地域鉄道事業者等に対する情報提供を適切に行うこと。

特に、本年度開催する「地域鉄道活性化に関する研究会(補助金等勉強会)」においては、共同開催となる国土交通省地方運輸局鉄道部との協議を十分に行い、議題の選定や意見交換の進め方について、地域特性を踏まえつつ、より効果的に実施し、助成業務の成果向上につなげること。

以上